

RACE REPORT

Japanese Endurance Race

Super Taikyu

Auto Labo

ENEOS BRIDGESTONE

#290 AutoLabo Racing

ENEOS スーパー耐久シリーズ2025 Empowered by BRIDGESTONE
第1戦 もてぎスーパー耐久 4 Hours Race

日時：2025年3月22～23日 サーキット：モビリティリゾートもてぎ
予選日 Race1：2025年3月22日 決勝日 Race1：2025年3月22日
Race2：2025年3月23日 Race2：2025年3月23日

ドライバー：Aドライバー横尾 優一 Bドライバー伊藤 大輔
Cドライバー西村和則

< STEL専有走行 >

2025年シーズンがいよいよ始まる。AutoLabo Racingは新たなチャレンジとしてST4クラスに参戦。更に車両はこれまで参戦した事のないスズキ スイフトスポーツを投入する事となった。メディアにも多く取り上げて頂き、今シーズン注目の1台になることは間違いない。専有走行では、事前にシェイクダウンが出来なかったという事もあって、各ドライバーとも入念にマシンチェックを行いながらの走行となった。大きなトラブルが出ることなく順調に周回を重ねていった。トップとの差は10秒程あるものの、マシン本来のポテンシャルの高さは感じていた。これからアップデートしていけば期待出来る事も実感していた。

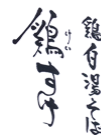


< Race1 予選 > 9位 / 9台中

快晴となったモビリティリゾートもてぎ。8時25分からAドライバー予選がスタートしていく。今シーズンもAドライバーは横尾 優一選手が担当。横尾は5周を周回し、タイムは2'18.640と9番手で予選を終えた。続いて、Bドライバー予選が行われた。今シーズンのBドライバーは伊藤 大輔監督が担当する事になった。伊藤も5周の走行をし、タイムは2'16.013とトップとのタイム差は約8秒となっていた。今出せる性能を100%出せた予選アタックとなった。Cドライバーには、西村 和則選手が務めた。西村は最終マシンの最終チェックを行い、アウトインで戻って来る事となった。



AutoLabo Racing PARTNERS



RACE REPORT

< Race1 決勝 > 7位 / 9台中

13時にRACE1決勝のフォーメーションラップが始まっていく。ローリングスタートの後、4時間にわたる戦いの火蓋が切られた。3回のドライバー交替が義務づけられており、スタートはベテラン横尾が担当していく。マシン、タイヤ、ブレーキ、全てにおいて初のロングランの走行となる。そんな中、横尾は予選タイムに近い2'19~20秒の安定したラップで周回を重ねていく。スタートしてから順調に走行を続け、1時間30分が過ぎた頃、ドライバー交代のピットイン。横尾から伊藤へとドライバー交代。スムーズにピット作業を行っていたが、ここでハブボルトにトラブルが発生してしまう。急遽、ハブボルトの交換を行う事となった。



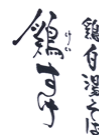
ピットインしてから40分が過ぎようとしていた頃、メカニックの懸命な作業により、コース復帰する。マシン自体の問題はなく、ドライバー交代した伊藤は、2'18秒~19秒のペースで周回を重ねていった。レースラップをみればトップと6秒差と、まだまだ煮詰めていく必要はあるが、戦える可能性をみせられていた。スタートから3時間が過ぎた62周目にピットイン。伊藤から西村へとドライバー交代。今回はスムーズにピット作業をこなし、ピットアウトしていく。西村も2'20秒の安定したラップで、チェッカーを目指し、マシンを運んでいった。西村は18周を走行し、最後のピットインへと向かう。レースも残り僅かとなったが、最終ステントは伊藤が務めた。そして迎えたチェッカー。最終的にクラス7位でチェッカーと受け、4時間のレースをまずは走り切ることが出来た。明日のRace2に向けてアップデートしていく事となった。

< 代表コメント >

今シーズンから2台体制となり、スィフトスポーツの方はシェイクダウンがレースウィークの木曜日という事もあって、まだまだ熟成が必要な状態ではあります。Race1の結果を踏まえてRace2に備えていきます。これから少しずつ戦えるマシンに仕上げますので、応援宜しくお願い致します。



AutoLabo Racing PARTNERS



RACE REPORT

Japanese Endurance Race

Super Taikyu

Auto Labo

ENEOS BRIDGESTONE

#290 AutoLabo Racing

ENEOS スーパー耐久シリーズ2025 Empowered by BRIDGESTONE
第1戦 もてぎスーパー耐久 4 Hours Race

日時：2025年3月22～23日 サーキット：モビリティリゾートもてぎ
予選日 Race1：2025年3月22日 決勝日 Race1：2025年3月22日
Race2：2025年3月23日 Race2：2025年3月23日

ドライバー：Aドライバー横尾 優一
Cドライバー西村和則

Bドライバー伊藤 大輔

< STEL専有走行 >

Race2の専有走行は土曜日に45分間行われた。各ドライバー共に徐々にマシンの特性を掴み、今出来る最大のパフォーマンスを探っていたが、ブレーキキャリパーがまだノーマルという事もあって、ブレーキに厳しいモチギでは特に厳しいレースとなった。マシンセットも徐々に進め始め、タイムアップを目指していった。この専有走行も、横尾、伊藤、西村が順にステアリングを握り、まずは周回を重ね、マシンのデータを収集していった。

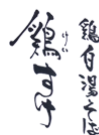


< Race2 予選 > 9位 / 9台中

春らしい暖かな朝を迎えたモビリティリゾートもてぎでは、8時30分からRACE2の予選が始まりました。まずはAドライバーの予選が行われ、横尾がコースイン。4周を走行し、タイムは2'19.145となり、9番手で予選を終えた。続いて、Bドライバー予選が始まっていく。伊藤のタイムは2'17.516となり、決勝はクラス9番手からスタートする事となった。Cドライバー予選に挑んだ西村は、3周を周回し、確実にメニューをこなしていった。



AutoLabo Racing PARTNERS



RACE REPORT

< Race2 決勝 > 5位 / 9台中

迎えた決勝。昼前には気温が20℃を超え、初夏を思わせる暑さとなったモビリティリゾートもてぎ。Race1で起きたトラブルも対策する事が出来、挑んだRace2の決勝。12時30分、いよいよRace2の4時間レースが始まっていく。スタートは横尾が務める。レース序盤はRace1同様に2' 20秒の安定したラップで周回を重ね、スタートから50分が過ぎた21周目、1回目のピットイン。横尾から西村へとドライバー交代していく。西村もマシンを劳わりながら、2' 20~22秒のラップタイムで落ち着いたレース運びをみせた。



レースがスタートしてから2時間の46周目にピットイン。西村から伊藤へとドライバー交代していく。ここでブレーキパッドの交換も行った。Race1ではブレーキがやはり厳しく、レース後のメンテナンスでブレーキパッドが変形している事が分かり、タイムロス覚悟の上でブレーキパッドの交換する作戦に出た。しかし、ピットストップしていた時間は5分と、素早い作業でコース復帰していった。コースに戻った伊藤は、2' 18秒~19秒のペースで前のマシンを追っていった。伊藤は1時間30分のロングステイントを走り、87周に最後のピットインを行った。最終ステイントを任されたのは横尾。伊藤から横尾へとドライバー交代。周りのマシンのトラブルや作戦もあり、クラス5番手を走行していった。レースも残り30分。クラス6番手とのタイム差も徐々に縮まってきてはいたが、逃げ切ることが出来、クラス5位でチェッカーと受ける事となった。

< 代表コメント >

RACE1の結果を踏まえて、タイム的にロスを承知の上でレース中にブレーキパッド交換する作戦に出ました。2レース続いた影響なのか、リタイヤするチームもあり、カメさん作戦ながら5位でしっかりポイントを獲得しました。正直言って今の状態では出来過ぎな結果だと思えますが、次戦に向けてしっかり対策していきます。



AutoLabo Racing PARTNERS

